

2026年度VR教材を活用したシミュレーション教育の充実

取組みと評価指標・目標

病棟や在宅医療などをVR映像で疑似体験することにより、医療職の業務や役割への理解を深める。また、模擬症例をVR体験することで、患者との効果的なコミュニケーションスキルの修得につなげる。さらに、基礎実習においては、実験手技の修得および動物実験代替にVRを活用し、知識・技能の定着を図る。

1. 具体的方法と期待される成果

VR教材を活用したシミュレーション教育を授業に取り入れることで、教室にしながら、病棟や在宅医療・模擬症例・基礎実習をVRで疑似体験することが可能となる。VR教材によりアクティブラーニングの向上を図り、学生の「授業の理解度」「学修成果の応用力」「授業への参加意欲」「授業への没入感」「授業に対する理解度」の向上が期待できる。

2. アウトカムに関する指標と目標とする数値

アウトカムに関する指標＝本取り組みについての達成指標

(1) 用いる指標

VR教材を取入れて授業を実施した科目（以下「導入科目」という）において、学生に対して、「実際に今回VRを使用した授業を受けたあなた方の状況」と、「もしもVRを使っていない授業を受けた場合の状況（想定）」について、この2つの状況を比較することで、学修効果の違いについて解析するための授業内アンケートを行った。

評価項目は「授業の理解度」「学修成果の応用力」「授業への参加意欲」「授業への没入感」「授業による成長度」の5項目として、今回の授業（VR使用）とVRを使っていない授業を想定した場合のそれぞれに対し、5水準で評価を実施した。そして、この差スコアを求め、この値が1以上増加した学生の割合を算出した。

(2) 目標とする数値

導入科目を対象として、2024年度前期に実施した上記の授業内アンケートの結果、5項目中4項目（「授業の理解度」「学修成果の応用力」「授業への参加意欲」「授業への没入感」）において、**50%以上の学生の差スコアが1以上増加した**。この結果を踏まえ、今後展開する導入科目において、同様のアンケートを実施し、**5項目中3項目以上で、50%以上の学生において差スコアが1以上を得ることを目標とする**。

3. アウトプットに関する指標と目標とする数値

アウトプットに関する指標＝アウトカムに関する指標を達成するための準備指標

(1) 用いる指標

導入科目数

(2) 目標とする数値

2024年度の段階で、本学の導入科目は**3科目**であった。2025年度においては、本学の導入科目を**5科目**とすることを目標としており、本目標値は達成している。2026年度においては、本学の導入科目を**6科目相当**とすることを目標とする。